

# 鑄造品の評価技術研究会(ETC-4)委員募集

## 研究会テーマ：「鑄物の実体評価に向けた評価技術の複合化」

部会長：虹技株式会社 長谷川智則

### 研究会趣旨：

平成 20 年に常設となった本研究部会は、3 期 10 年の活動期間に共同研究、講演、オーガナイズドセッション等を実施し、鑄造品を評価する技術の発展に努めて参りました。また、鑄鉄品の超音波試験技術者講習会も継続して開催することで定着し、これまで 21 回の開催で 276 名の技術者が修了しました。本研究部会の活動にあたっては、研究委員各位のご協力ならびに所属企業、大学、研究機関のご理解とご支援に感謝申し上げます。

鑄造品の品質に対する要求は年々厳しくなり、その品質を達成するためには鑄造プロセスのみならず評価の重要性が増すばかりです。鑄造品は肉厚などの形状の条件、溶湯処理など鑄造条件によりその強度特性が変わるため、鑄造品への要求レベルが高まるほど、製品としての鑄造品に対する検査技術、特に非破壊的手法の重要性が増します。ここ 10 年の間にも種々の非破壊試験方法が開発され、実用化が期待されるところですが、種々の欠陥に対する検査方法として万能な評価技術は存在しません。各評価手法の特性を理解した上で、鑄造品に合わせて複数の手法を組み合わせるなどの工夫が必要となります。

そこで第 4 期の本研究部会では、「鑄物の実体評価に向けた評価技術の複合化」をテーマに設定します。新たな試験方法の研究や動向調査を行うとともに、共通試料や試作装置を用いて種々の評価技術の測定データの蓄積を行い、鑄造品をより確実に、より詳細に評価する技術を検討します。また、試験法の検討や利用だけでなく、製品ならびに材料を評価する上で必要な強度、欠陥、試験法の原理などを習得する機会を提供していきたいと考えております。

ここに広く委員の募集を行いますので、鑄造品の評価・検査に携わっている、あるいはご関心をお持ちの技術者、研究者の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

### <部会実施予定テーマ>

- 1) X線、超音波、電磁的手法の組み合わせによる鑄造品評価手法の検証
- 2) 鑄鉄品の評価装置の試作と検証
- 3) 共通試料を用いた評価手法の検証
- 4) 定例 UT 講習会の開催
- 5) 新しい試験・検査技術の情報収集・研究開発

### <活動期間および活動内容>

平成 31 年 5 月～令和 4 年 3 月  
年 3 回の研究会開催、共同研究実施

### <連絡先・申込先>

①ご氏名、②ご所属、③ご住所、④ご連絡先 (E-mail, Tel/FAX) をご記載の上、  
題名を「鑄造品の評価技術研究会申込」として下記宛にメールにてお申し込み下さい。

幹事：堀川 紀孝

旭川工業高等専門学校 システム制御情報工学科

E-mail : horikawa@asahikawa-nct.ac.jp Tel/FAX : 0166-55-8025

### <その他連絡事項>

本部会に属する委員は、運営上の経費負担（企業委員 1 社 4 万円／年）および部会での発表や共同研究・報告書作成などを分担して頂くこととなりますので、ご了承下さい。